

### 現役高校生の「読書実態アンケート 2023」

“現物を買って読みたいもの”、“電子版で読みたいもの”に若干の違い  
 「じっくり味わって何度も読みたい」 or 「サクッと読んでインプットしたい」の差  
 ～本・漫画・雑誌に使う月平均額も発表！「1,577円」で、昨年から167円UP～

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）が提供する進路情報メディア『スタディサプリ進路』は、スタディサプリ編集部的高校生エディター&公式 LINE 登録者を対象に“読書”についてアンケートを実施致しました。また、こちらのアンケートの詳細は『スタディサプリ進路』内の「#高校生なう」でお知らせしています。

URL: <https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/20230927000003/?vos=scrnot00059>

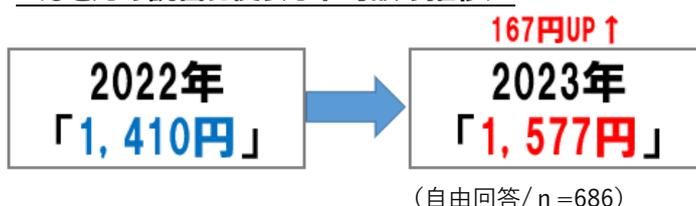
#### リアルな読書シーンは、「土日の休みの日」が5割。スキマ時間よりもゆったりとした時間が主 2023年版！読書に使う月平均額は、「1,577円」！2022年からUP、物価高の影響か

昨年、高校生の8割が読書をすると回答した「読書実態アンケート」。今年は、リアルな読書シーンを聞きました。すると、1位は「土日の休みの日」で5割を超え、2位は「夜ごはん～寝る前まで」、3位「学校の休み時間」に。通学時間や通学前を抑え上位にランクインしたこれらは、短時間の隙間時間ではなく自由でゆったりとした時間ともいえます。読書はじっくり時間を取ってやりたいこと、という心持ちなのでしょう。また、ひと月に本・漫画・雑誌に使う金額を聞くと、平均金額が「1,577円」と昨年よりも167円上昇していました。これは、昨今の物価上昇の波が紙媒体にも影響していると考えてよさそうです。

|    | 読書をするシーン TOP3 | 割合    |
|----|---------------|-------|
| 1位 | 土日の休みの日       | 52.9% |
| 2位 | 夜ご飯～寝る前まで     | 45.0% |
| 3位 | 学校の休み時間       | 24.5% |

(複数回答/n=686)

#### <ひと月の読書に使う月平均額の推移>



#### “現物を買って読みたい”1位「小説系」、2位「単行本・コミックス」

#### “WEBやアプリ（電子版）で読みたい”1位「単行本・コミックス」、2位「ニュース・時事問題系」

読書といえどもさまざまな手法がある中、“現物を買って読みたいもの”を聞くと、1位「小説系」、2位「単行本・コミックス」、3位「漫画以外の雑誌」となりました。「WEBやアプリ（電子版）で読みたいもの」は、1位「単行本・コミックス」、2位「ニュース・時事問題系」となりました。フリーコメントを見ると、「本当に好きな漫画だけ現物です！」(高3女子/千葉県)、「小説や漫画などの作品はアナログ、賞味期限のある情報誌はデジタルにすると管理が楽だから」(高2女子/宮城県)、「小説などは読み返したりするから」(高2女子/石川県)と、現物は何度も読み返したい・手元で保管したいお気に入り、WEBは日々更新される情報をサクッと読む、と使い分けしているようです。

|    | 現物を買って読みたいもの TOP3 | 割合    |
|----|-------------------|-------|
| 1位 | 小説系               | 53.9% |
| 2位 | 単行本・コミックス         | 48.1% |
| 3位 | 漫画以外の雑誌           | 14.9% |

|    | WEBやアプリで読みたいもの TOP3 | 割合    |
|----|---------------------|-------|
| 1位 | 単行本・コミックス           | 40.7% |
| 2位 | ニュース・時事問題系          | 35.3% |
| 3位 | 漫画の週刊誌・月刊誌          | 23.8% |

(どちらも複数回答/n=686)

#### 編集長コメント

#### 10人にひとりが読書から進路選択に影響あり！ノンフィクション作品で知る「リアルな世界」が刺激に



『スタディサプリ進路ブック』  
 編集長  
 仲井 美夏  
 (なかい みか)

入学前から将来の夢が明確な子もいれば、高校生活を通してゆっくりと考えを深めていく子など、タイミング・きっかけによって異なる進路選択。今回の調査では、約1割が読書で進路選択に影響を受けていたという結果が。フリーコメントには、「小説の主人公によって職業理解が深まった」や「漫画の名言に背中を押された」とさまざまな声がある中、特に印象的だったのはノンフィクション作品の影響力の大きさ。

「視点やアプローチの模索、価値創造の重要性、他者との差別化…本から得た多くのアイデアは、進路選びにおいて自己の特性を理解し、独自の道を見つける上で大いに役立ちました」(『ゼロ・トゥ・ワン』を読んで/高2男子)、「マーケティングに興味を持つきっかけになった」(『USJ』を劇的に変えた、たった1つの考え方』を読んで/高3男子)、「有名なスニーカーブランドの創業者の本で、将来スポーツに関わりたいたいと思いたったきっかけとなった」(『シュードッグ』を読んで/高2男子) など。

学校という枠や自分の目に映る日常を超えて「リアルな世界」や「リアルな人」に出会わせてくれる読書。それが自身の価値観や進路選択に大きな刺激を与える機会となっているようです。

### 【アンケート概要】

- 調査時期：2023年8月24日（木）～2023年8月27日（日）
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査実施機関：株式会社リクルート
- 調査対象：全国高校生男女（『スタディサプリ進路』の高校生エディター/公式LINE登録者）
- 有効回答数：686件（男子203件、女子465件、性別を選択しなかった人18件）

## ■『スタディサプリ進路』について

『スタディサプリ進路』は、1970年に創刊した『リクルート進学ブック』に始まり、2020年に50周年を迎えた、リクルートグループにおいて就職支援に次いで歴史の長い事業です。“「学びたい」「学んでよかった」がもっと増えていく世界の実現”をコンセプトに、変化が激しい社会の中で生徒が生き抜くために、「なりたい自分」と「自己実現できる学校」を発見し、「自分に合った進路選択の実現」を可能にするためのサービスを提供しています。高校3年間を通して、「自己理解」「職業観育成」「学びの内容理解」「学校研究」に対応するさまざまな教材ラインアップを無料で提供しています。

（詳細：<https://shingakunet.com/rnet/column/rikunabi/index.html?vos=conttwnowother00010>）

## ■“スタサブ編集部”について

全国3,000人以上の現役高校生からなる「スタサブ高校生エディター」と共に、高校ライフにフィットするコンテンツを作る編集部。進路や受験勉強のノウハウはもちろん、夜食レシピやメンタルを支える名言などの多様なコンテンツを、Webサイト『#高校生なう』、年8回発行の情報誌『スタサブ進学マガジン』、アプリ『スタディサプリ for SCHOOL』、会員向けメールマガジン、各種SNSで配信中。

なお、今回のアンケート結果をさらに詳しく分析した記事は『#高校生なう』の下記URLにて公開中。

<URL：<https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/20230927000003/?vos=scrmot00059>>

## リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>